

特定外来生物！ クビアカツヤカミキリ にご注意を！

クビアカツヤカミキリはサクラ、ウメ、モモなどの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまうこともある**特定外来生物**です。繁殖力が非常に強く、早期発見、防除対策が重要です。成虫や被害を見つけたら、お住まいの市町村もしくは県景観・自然環境課へ情報提供いただくとともに、駆除などのご協力をお願いします。

詳しくは
景観・自然環境課
ホームページまで



クビアカツヤカミキリの
情報提供は
奈良スーパーアプリから
お願いします！



クビアカツヤカミキリ

体長約2.5～4cm、首が赤く、体全体にツヤのある黒いカミキリムシ。

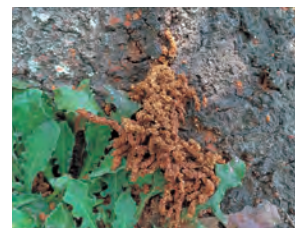
1 クビアカツヤカミキリの被害にあった木

- 木の根元などにフラスがたまっている
- 被害を受ける樹種はサクラ、ウメ、モモ、スモモ、ハナモモ、リンゴ、アーモンドなどバラ科樹木。(カキやイチジクの木には入らない。)



2 クビアカツヤカミキリのフラス

- 幼虫は木の内部を食い荒らし、大量のうどん状のフラス(木くずとフンが混ざったもの)を木の外に出しながら2～3年過ごし、5～8月頃に成虫となって樹木の外に出て産卵する。



3 対処例

被害が出た木へは、

- フラス穴から幼虫を掘り出す
- カミキリムシ用のスプレー剤を注入するなどの防除方法があります。



※木の所有者や管理者の許可なく処置してはいけません。

4 奈良県クビアカツヤカミキリ確認マニュアル

- クビアカツヤカミキリの防除の詳細は、「奈良県クビアカツヤカミキリ確認マニュアル」をご覧ください。



注意！被害木の伐採について



木を切った後は、**速やかに焼却、もしくは破砕処理などが必要**です。

処分方法は自治体ごとに異なりますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。

- 伐採した被害木を放置すると、木の中の幼虫が**死滅しないため、成虫となり他の木に産卵する恐れ**があります。
- 運搬時には幼虫が落ちたり成虫が飛んでいかなないように**包んだり、幌を掛けるなどの対策**が必要です。



お問い合わせ先
はこちら